

習志野市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度実績等に対する御意見と担当課の考え方

議題1 習志野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実績評価について(協議)

①109事業における実績評価について

No.	事業番号	事業名	意見等(原文)	担当課の考え方
1	1	こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編	菊田からみのりへの先生方の引継(共同保育など)はスムーズだったと思います。私立化が進んでいるのは、「多様な保育サービスの実施」のためだそうですが、確かにさほど変化はありませんが、保護者を担当していると園長先生の意見が絶対なので、良い園かどうかは園長先生によって決まる気がします。今後私立化が増えるようなので、ガイドライン、三者協議会、近隣住民への十分な説明等、確実に行って頂きたい。	(こども政策課) これまでと同様に、今後の私立化事業においても、私立化ガイドラインに基づき、三者協議会において保護者・法人・市との合意形成を図り、近隣住民への説明を丁寧に行い、円滑な移管を目指してまいります。
2	2	教育・保育施設、小規模保育の充実	認可外から小規模保育に移行したことにより、認可の受皿が55人増加したのはいいが、3歳児が転所できずに継続入所も困るだろうし、一時保育施設の減少、止むを得ず市外の認可外を利用している方への助成など課題が多いと思うので、取り組んでいただきたい。	(こども政策課) 小規模保育の3歳児の受け皿については、平成29年度に開設する施設において、受容できるよう整備を進めております。また、今後の小規模保育事業所の整備においては、3歳児の受け皿確保と併せて行ってまいります。 (こども保育課) 本市が助成対象としている認可外保育施設は、各施設から申請を受けた後、本市の基準に照らし、立入り調査等で安全安心を確認したうえで認定した市内の施設です。 本市の基準は、県の「認可外保育施設指導監督基準」に準じており、さらに独自の基準として保育室の面積基準を乳幼児1人当たり2.5㎡とし、県で定めた1.65㎡より厳しくしております。 よって、本市の求める保育の質を確保する意味で、基準を満たした施設を助成対象としているところです。
3	4	放課後児童会の運営	平成27年度実績について。 平成27年度第1回会議における「担当課の考え方」には、「評価指標として、「支援員数」を加えます。」と記載されておりました。しかし、今回の実績表の評価指標は「施設数」「定員数」「児童数」だけでした。必要とされる支援員数(たとえば予算上の人数)と実数(たとえば決算時の人数)を比較しなければ、達成度を測れないと考えます。この点について説明を求めます。	(青少年課) 評価指標の中に、「支援員数」の記載が漏れておりました。評価指標に追加いたします。なお、予算上の支援員数98名に対し、平成27年度末の支援員数は53名であり、支援員不足に起因する待機児童が発生している状況であります。
4	4	放課後児童会の運営	1年生～3年生だけ児童会に入会できても、4年生で入れず仕事をあきらめたり、1人で帰宅させるのは困る。「4年生以降も全入制にしてほしい」と同意見です。	(青少年課) 4～6年生につきましても、希望する全ての児童の受入ができるよう、今後も施設整備を進めるとともに、支援員の確保に努めてまいります。

習志野市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度実績等に対する御意見と担当課の考え方

議題1 習志野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実績評価について(協議)

①109事業における実績評価について

No.	事業番号	事業名	意見等(原文)	担当課の考え方
5	5	休日保育の充実	自分の職業上、休日も預けられたらとても助かる。他にも希望者はいると思うので、アンケートなどで希望者数を調べて、利用施設を増やしてほしい。	(こども保育課) 休日保育は、私立かすみ保育園で実施しており、市内の認可保育所及びこども園に在籍しているお子様であれば、平日と同じ理由で休日においても家庭で保育できない場合にお預かりしております。 平成27年度の利用状況としましては、園からお断りしたケースはなく希望者全員を受け入れております。 休日保育に係るアンケート調査は、調査方法等を含めて実施について検討してまいります。
6	10	学校健康教育の推進	日常生活が便利になる中、子どもの体力が低下することは止められません。意識的な体力作りが必要になりますが、運動・部活に頼るのはどうか。運動が嫌いな子もいる上、小学校の部活動は種類も少ない現状。特に幼・小の間は、起伏を作ったグラウンドで鬼ごっこや走り回って遊ぶ時間を作る等あそびの中で育めないか。 放課後のグラウンド開放なども、子どもの体力増につながるのではないか。思い切り外あそびが出来る場がなく、ゲームに時間を費やしている子どもも多い。	(指導課) 学校生活においては、小学校では業間体育等の実施や昼休みの外遊びの奨励等を行い、児童生徒の体力向上を図っています。 放課後のグラウンド開放について現時点では、安全面での理由等により全校での実施は難しいのが現状であります。
7	16	鹿野山宿泊保育・学習の充実	保育園でも実施してほしい。	(こども保育課) 保育所では、宿泊保育から帰った当日も、夜7時まで集団生活が継続し、また、次の日も朝7時から登所し、保育所生活は土曜日まで継続します。十分な休養なく過ごすことは、こどもにとって心身ともに負担となり、その後体調を崩す恐れもあることから、養護的側面において難しいと考えます。 さらに、宿泊保育中の怪我や病気の際、早急にお迎えをお願いしており、急な対応は仕事をしていると困難なことも予測できます。 これらのことから、現段階では、保育所における鹿野山宿泊保育の実施は考えておりませんが、子どもや保護者にとっての安全、安心を最優先に、目的である自主性、責任感、知的好奇心等を育めるよう、さらに保育環境の工夫と充実を図ってまいります。

習志野市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度実績等に対する御意見と担当課の考え方

議題1 習志野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実績評価について(協議)

①109事業における実績評価について

No.	事業番号	事業名	意見等(原文)	担当課の考え方
8	20	男女共同参画を推進する意識づくり	男女共同参画の意識の中には、家庭・仕事の他に地域での活動もあったのではないかと。女性の社会参加、男性の育児参加だけでなく、地域で楽しく暮らすために、という視点にも今以上に取組むべきではないか。PTAや町会なども高齢者任せになっており、コミュニティが崩れている。	(男女共同参画センター) 豊かで活力ある地域社会を形成するためには、男女が共に熱意をもって地域活動に参画することが重要です。そのためには、働く場でのワーク・ライフ・バランスを推進すること、男女が家事・育児・介護等を担い合う家庭が増えることが重要であり、については地域に目を向ける時間が生まれると考えます。今後は働きながら、社会・地域活動等をはじめ、多様な生き方をする人材の発掘やネットワークをつくるなど、働き方を見直し、仕事と生活の調和を図る取り組みを加速化させてまいります。
9	26	子育て応援ステーション事業の充実	子育て応援ステーション、チーパス共にあまり普及しているとは思えない。もっと拡大すべき。	(子育て支援課) 子育て応援ステーション及びチーパスについては、市ホームページ等で周知をしているところですが、今後も商店連合会などにもお声掛けし、周知に努めてまいります。なお、千葉県主催事業であるチーパスは、今年度から全国展開しておりますことから、その周知にも努めてまいります。
10	27	公園施設の整備	公園整備も当然必要だが、児童数に対して公園の数が少なすぎると思う。奏の杜辺りも公園が狭すぎる。	(公園緑地課) 緑の基本計画に基づき、都市公園を増やしていく予定です。奏の杜地区および市内公園の広さについては地域や人口を考慮し設定しております。
11	28	地域住民参加型の公園維持管理	公園の整備・地域のパトロールなどに子育て世代や子どもの参加をとりこめないか。すでに子どもが大きくなっている人が主体なのではないか。すでに実現している地域があれば、その取り組みを広げられないか。	(公園緑地課) 公園につきましては、既に66団体の地元町会、子供会等により、清掃・除草、遊具の点検等、公園の維持管理を行っております。今後につきましても同様の取り組みを広げてまいりたいと考えております。
	36	安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施		(防犯安全課) 現在、地域パトロールの方法、参加者等については各地域に一任しております。そのため、子育て世代や子どもの参加については各地域に委ねられております。なお、子どもの参加の実績のある団体を見ますと、日頃からまつりや各種体験会などの地域イベントに参加しているような団体が多いと思われます。
12	29	応急手当普及啓発活動の推進	小学校等で土日に活動しているサッカー・バスケットボールのチームのコーチや保護者は受けているか知りたい。熱中症対策も含まれているのか。熱中症は大事には至らず数字には上らないが発症している例は多いと思う。	(警防課) 御依頼のあった団体への講習は行っております。また、熱中症に対する予防や対応を講習の中で説明しております。

習志野市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度実績等に対する御意見と担当課の考え方

議題1 習志野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実績評価について(協議)

①109事業における実績評価について

No.	事業番号	事業名	意見等(原文)	担当課の考え方
13	30	公共交通施策の推進による外出利便性の向上	南北のアクセスが欲しい。大久保駅より北側地域から袖ヶ浦スポーツ施設等行きづらい。	(都市政策課) 京成大久保駅より北側地域から袖ヶ浦スポーツ施設等への直接的な移動手段はありませんが、京成津田沼駅からハッピーバス海浜ルートで行くことができます。 市内を横断している京成線と路線バスなどを乗り継ぐことで市内の移動を確保しています。公共交通につきましては「あれば便利」ではなく「無くては困る」という考えのもと取り組んでいます。
14	39	健やかな子を産み育てる体制の充実	28年度の目標に「産後直後ケア」とあるがとても大切だと思う。祖父母も働いていると日中頼れる人がおらず、退院直後は母親は特に不安になる。こういった取り組みは、本当に助かると思う。	(健康支援課) 出産後、不安が強く、家族等による支援が得られない方に対し、産科等にて支援が受けられる宿泊型の事業を、平成29年1月からの開始に向けて調整を進めております。
15	44	乳児家庭全戸訪問及び乳幼児に対する健康相談の充実	実施率98.2%との結果であるが、実施できなかった1.8%分の乳児にはどのようなフォローを行っている(予定)なのか。事業の目的を鑑みると、訪問できなかった子どもこそハイリスクなのではと懸念してしまうので、確認したい。	(健康支援課) 会議当日、口頭で回答します。
16	47	予防接種	「予防接種モバイルサービス」は、大変役に立つと思う。利用者の声を聞きたい。	(健康支援課) 利用者にアンケートをした結果では、 ・忘れずに接種ができよかった ・予防接種の管理ができる(予定を組んでくれるのでとても楽)など 利用してよかったとの回答が多くありました。 情報提供の面で 「簡素な情報しか乗せず詳しくは習志野市ホームページへのリンクで終わることが多く最初からホームページを見た方が早いと思うことが多い」 との御意見もあったため、今後検討していきます。
17	48	小児救急医療体制の整備、充実	子ども急病電話相談を利用して案内の病院へ行ったが、担当医が不在との事で診てもらえず、次の時間帯の診療所が開くまでロビーで1時間待たされた。病院側の対応をきちんと把握してるのでしょうか。	(健康支援課) 子どもの急病電話相談事業は、県が運営しております。県にお伝えいたしますので、もう少し詳細についてお聞かせ下さい。
18	52	子育て情報の提供	子育て応援サイト「きらっこナビ」は、ぜひ市HPのトップページに欲しい。	(子育て支援課) 現在、市HPを所管する広報課にトップページへの掲載を依頼しております。

習志野市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度実績等に対する御意見と担当課の考え方

議題1 習志野市子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実績評価について(協議)

①109事業における実績評価について

No.	事業番号	事業名	意見等(原文)	担当課の考え方
19	69	適応指導教室の推進	「適応指導教室」という事業名は不適切ではないか。不登校の子に「不応」というレッテルを貼っているように聞こえる。不登校には様々なケースがあると思うが、必ずしも本人の問題だけではなく、クラスや家庭での問題に起因することもあるのでは？あたたかく見守ることを伝えられる名前にしてほしい。	(総合教育センター) 「適応」には様々な状態・段階があり、不応のみを意味するものではないと考えています。また、子ども・指導者の間では「フレンドあいあい」というやわらかい呼称が常時使われています。実際の指導においても、個々の児童生徒に寄り添った支援をしており、これを継続していく考えです。
20	87	PTA家庭教育学級の充実	3事業とも、より積極的に動く地域の人材不足を上げているように感じます。PTAや公民館での子育てサークルが今の時代に合わない部分が出てきているのかもしれませんが、子育て仲間との体験や学びは、幼児期だけではなく、思春期やその後まで、親の育児の支えとなる。呼びかけ方、形式等を変化させることで子育て世代がより関心を持つようにできないか。	(公民館) 毎年実施している反省会等を通じて講座を運営するPTA役員の方々と協議を重ね内容の工夫や呼びかけ方について指導してまいります。
	89	育児講座等の充実		(公民館) 講座終了後の自主的な活動につながる支援策について検討していきます。 (子育て支援課) 育児講座等の開催につきましては、講座の内容を子育てに活かしていただくとともに、仲間づくりも目的としているため、講座自体もそれを意識した構成としています。今後も興味を持っていただくようなチラシの作成やツイッター等を活用し、周知を図ってまいります。
	93	子ども講座の充実		(公民館) 子どもに関心のある講座、文化の伝承に関する内容等を取り入れるよう引き続き工夫をしていきます。

②教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実施状況について

No.	事業の名称	意見等(原文)	担当課の考え方
1	病児保育事業	「2ヶ所が山側にあるため、海側にも設置してほしい」との意見は市保連からも出ていますが、自分も利用したい気持ちはありますが、遠すぎて不可能です。増設は計画にないのでしょうか。理由をお聞かせ下さい。	(子育て支援課) 病児保育については、平成31年度までの計画期間中において施設数を2か所とし、また、定員を増やすことで対応しております。しかしながら、地域バランスの不均衡については認識しておりますことから、施設の増設については、平成29年度の計画の見直しにおいて検討してまいりたいと考えております。